

[ 日本酒よもやま話 第5話 ]

## 酒匂川

檜原 勇多賀 (37年卒)

酒匂川が流れている足柄平野には、酒にまつわる地名が多い。富士・丹沢山塊を主な水源とする、足柄平野自体を形成した中心の川が"酒の匂い(におい)の川"と書く「酒匂川(さかわがわ)」だし、その上流の支流滝沢川には、「酒水の滝(しやすいのたき)」という、名水百選や日本の滝百選に選ばれるほどの名瀑もある。

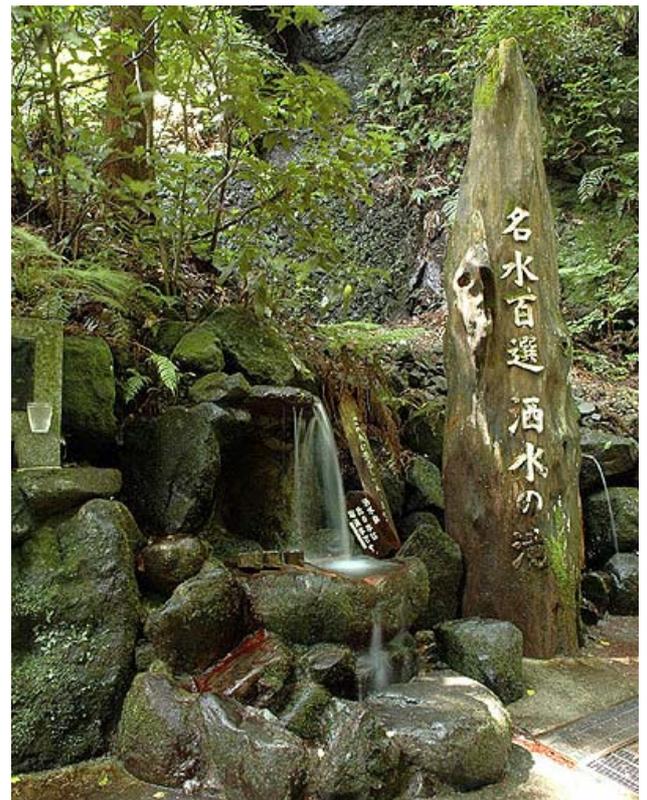
足柄平野上部の、現在酒造米「若水」も栽培されている、良い米を産する開成町には、「酒田(さかた)」という場所があった。

ここは、まさかりかついで金太郎~?の童謡でも有名な、金太郎こと「坂田(酒田)金時」の生れた地という言い伝えがある。金太郎の父、酒田義家という人が、平安時代中期にこの地の有力な豪族として、貴族の荘園(田んぼ)等も管理していたらしい。その後、一族の権力争いがあり、実の叔父に義家が殺されてしまい、遺児となった金太郎は、姥(うば)に連れられ、箱根山中の金時山や足柄山に隠れ住むことになった。

結果、山奥で熊や兎を遊びあいてに育つ境遇となる……。

良い水、良い米がある地域に、良い酒ができ、それにまつわる伝説めいた地名が残っているのは、酒飲みでなくてもロマンがかきたえられる。このようにみえてくると、神奈川県足柄平野上部地域は、とてもめぐまれた素姓の良い酒どころといえないだろうか。

(第5話 終わり)



# 天文趣味のすすめ (その5)

西田信一郎 (1980年修士卒)

人間社会の雑事に追われる我々ですが、冷静に考えると、広大な宇宙の中の一つの恒星である太陽の周りを周回する地球という惑星の上で生息している生物です。宇宙の中で生きている知的な(?)ヒトなので、我々地球人は宇宙人であると言えることができるでしょう。宇宙人でありながら、宇宙のことを全く意識することなく日々を送ってしまうのは、無為に狭い閉塞空間に引き籠った行いだと感じるのは、私だけでしょうか？

夜(いや、昼も)空を見上げると、様々な天文現象が起きています。宇宙の出来事にちょっと目を向けてみると、驚くほど多彩でスケールの大きな現象を目にすることができます。そして、より深く宇宙に接するための道具が望遠鏡です。今回は、初心者向けの望遠鏡について紹介させていただきます。

(その3)でご紹介した双眼鏡と同様に、望遠鏡も超高級品から玩具レベルの粗悪品まで、様々な製品が販売されています。科学に芽生える年代の小学校高学年生や中学生に華奢で扱いづらく見え味の良くない粗悪品や逆に重厚過ぎる高級品を買い与えると、せっかくの機会なのに興味をそがれて科学する心も萎んでしまう可能性が小さくありません。このため、見え味良好、架台もしっかりしていて、でも軽量コンパクトという線で選択することが肝要です。販売されている入門用の望遠鏡の大半は、中国製という現状です。しかし、米国の大きな望遠鏡ブランドが中国資本下に入っているのも現実です。また、日本の光学メーカーのブランドで売られているものは、検査を経ているので、概ね良好です。また、接眼鏡は、台湾製も多く出回っていますが、ひじょうに良質です。



小学生などの入門用望遠鏡としては、口径6~8cmの屈折式・経緯台が妥当だと思います。経緯台は、(A)微動機構を持たないフリーストップ式、(B)微動付き、(C)両方を兼ねた方式の3種類があり、概ねこの順に価格が上がります。

図1 入門用望遠鏡の例：スコوپテック社「アトラス60」

以下の機種が当方の独断と偏見で選んだ候補機種です。(記事執筆時点で販売されている機種です)

- ・スコープテック社：ラプトル60...(A)
- ・ビクセン：スペースアイ700...(B)
- ・スコープテック社：アトラス60...(B)
  - ・ミザール社：MT-70R...(B)
- ・アイベル：SWT-70XS...(C)
- ・アイベル：ポルタ1170Lf...(C)
- ・ビクセン：ポルタ11A80Mf...(C)

アイベル社やスコープテック社の望遠鏡は、各社のwebサイトで購入が可能ですし、他社の機種は、Amazonやカメラ量販店などのwebサイトで割安価格で購入できます。フリーストップ式の架台のメリットは、小学生が何も気後れすることなく、天体にヒョイっと向けられることと、軽さです。一方、微動機構付きの経緯台は、高倍率時にも天体の導入や手動追尾が容易です。

続いて、オトナの方が、「宇宙に親しんでみよう」という場合の推奨機種ですが、まず、いきなり高級、重厚な機材に走ることは、おやめになった方が良いでしょう。すぐに飽きてしまう場合も多々ありますし、重い機材では、運び出してセッティングすることが億劫になって、せっかくの楽しみの障害要因となります。私のように50年以上も天文趣味をしつこく続けている人間でも、小さな望遠鏡をちょっと戸外に出して、短時間、天体を眺める「ちょい見」で済ませる場合が多いのが実態です。そこで、「ちょい見」に適していて、将来、趣味を深耕したときに天体写真撮影にも使える機種をお薦めしたいと思います。

まず、バードウォッチング用の高級なフィールドスコープ(スポッティングスコープ)は、天体観望にも使えるものがあります。天体観望には傾斜型がよいのですが、プリズムの配置がオフセットしていてプリズムの稜線の角度誤差(製造誤差)の影響が無い機種に限られます。(旧型のNikon、Kowaの機種)この製造誤差は、見え味に顕著に悪影響を及ぼし、高い倍率でも使用する天体観望用途では致命的です。また、対物レンズのFが明るい機種が多いため、EDレンズやSDレンズなどの低分散硝材を使用した機種が望ましいです。(ひじょうに高価です)従って、兼用・流用は諦めて、天体観望用には天体望遠鏡を調達した方がよいと思います。

当方の独断と偏見で候補を挙げますと、次の3機種(鏡筒)です。

- ・セレストロン:(C5)XL127

- ・スカイウォッチャ : M A K 1 2 7 S P
- ・ビクセン : E D 8 0 S f

これらの機種を微動付きの経緯台（例えば、ミザールK型）に載せると、ちょい見に好適です。これをお手持ちの（ただし頑丈な）写真用三脚に載せると、お手軽な観望が可能となります。Amazonで鏡筒と経緯台を個別に購入することも可能ですが、アイベル社で様々な構成でセット化されたものがより安価に販売されておりますので、参考までにURLリンクを貼ります。 アイベル社のX L T 1 2 7 リンク : (<http://www.eyebell.com/xlt.htm>)

夏～秋は、見応えのある星雲・星団が多く、この夏は、火星、土星の観望の好機です。天体望遠鏡での星空探訪に一步踏み出してみても如何でしょうか。

以上、



図2 オトナの入門用望遠鏡の例 : アイベル社「X L T 1 2 7セット」

# 韓国の歴史を辿る旅

(その6)

藤川 卓爾 (S42 卒)

## 3 日目： 江景、白馬江 「白村江の戦い」の故地を辿る

3 日目の旅は韓半島(朝鮮半島)90%横断の旅でした。前日慶州(キョンジュ)に泊まり、早朝に韓国本土最東端の虎尾串日の出公園を訪問した後、慶州のKTX(韓国高速鉄道)新慶州駅までバスで行きました。



図1 韓半島横断の旅(出典：韓国地図コネスト <http://map.konest.com/>)

新慶州から韓国中西部最大都市の大田(テジョン)までKTXに乗りました。続いて在来線の西大田(ソデジョン)から湖南線を通って江景(カンギョン)までは無窮花(ムグンファ)号に乗りました。無窮花とは韓国を象徴する花、槿(むくげ)の意味で愛称としては1960年に最優等列車に初めて採用されました。



写真1 KTX 新慶州駅



写真2 西大田駅に入構した無窮花号

江景は韓国西部を流れる錦江(クムガン)の中流の街です。この辺りは韓国の穀倉地帯で米どころとなっています。

筆者は高校の社会では人文地理と世界史をとり、日本史はとっていませんが「白村江の戦い」の名前は中学校の社会で聞いた記憶があります。白村「江」と

「江」がついていることから勝手に「入江」、それも韓国南西部のどこかの入江を想像していました。

「白村江の戦い」の古戦場の比定地については諸説あり、いずれも錦江の流域です。今回の旅ではそのうちの2か所に行きました。最上流の比定地は百濟最後の都であった扶余の扶蘇山城の下を流れる白馬江(ペンマガン)です。中流の比定地が江景です。宮原 誠也氏の「誰も歩かなかった 韓国の旅」の中で宮原氏は自信を持って江景が白村江の戦いがあったところだと書いています。

そこで今回の旅でも江景訪問を加えました。思えば今回の旅は相当マニアックな旅だと思います。2日目に訪れた多大浦や3日目の早朝に訪れた虎尾串日の出公園に行く日本人は余り多くはないと思いますが、それ以上に江景に来た日本人も珍しいでしょう。

江景の駅から錦江の河岸を經由して本日の宿泊地である扶余まで行くのには鄭先生にお願いして割安料金でタクシーをチャーターしました。錦江の河岸には駐車場と展望台がありました。駐車場の近くの水辺から対岸を眺めた後、展望台の上からも錦江を眺めて、約13.5世紀前の海戦に思いを馳せました。韓国本土の西海岸側は高低差が少ないので河川はゆっくりと流れています。代表的なのが首

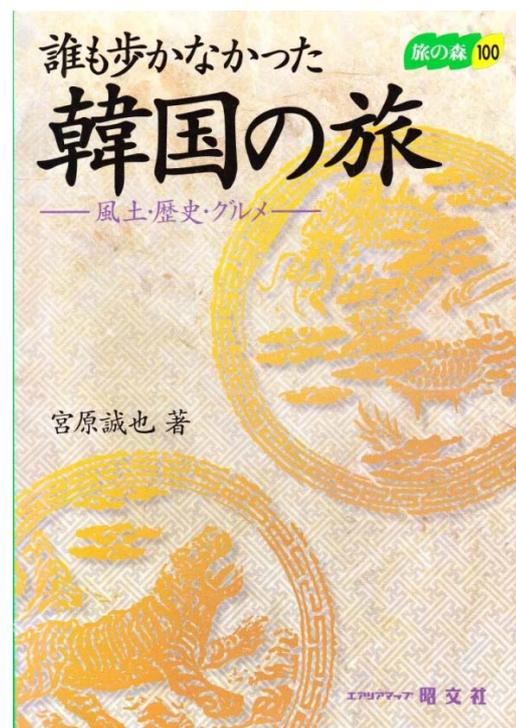


図2 宮原 誠也著「誰も歩かなかった 韓国の旅」



写真3 江景の河岸の展望台から見た錦江

都ソウルの中央を東から西に流れる漢江(ハンガン)です。錦江は決して大河ではありませんが、江景で眺めるそれはあたかも大河に見えました。これはさらに上流の扶蘇山城下の白馬江も同じです。もし、日本の河川のように急流であれば、江景や白馬江のような錦江の中・上流が「白村江の戦い」の比定地になることは決してなかったでしょう。

さて、主題の「白村江の戦い」です。3日目の午後に行く扶余扶蘇山城下の白馬江は如何にもその戦場と考え易いところです。次回浅野氏担当の(その7)で出て来るとと思いますが、扶蘇山城の落城時に多くの宮女が今でも「落花岩」と呼ばれている岩から錦江に身を投げたと伝えられています。眼下の「白馬江」で百済 - 倭の連合艦隊が唐 - 新羅の連合艦隊に敗れるのを見て「今はこれまで」と身を投げたと思いが易いのですが年代が違います。扶蘇山城落城による百済滅亡は660年で「白村江の戦い」はその3年後の663年の出来事です。

### 白村江

古代東アジア大戦の謎  
遠山美都男



図3 遠山 美都男著「白村江 古代東アジア大戦の謎」

「白村江の戦い」の時には百済は既に滅亡して正式な国家は亡くなっており、百済再興を期す遺臣たちが倭と連合して戦ったのです。したがって、唐 - 新羅連合軍が百済(遺臣) - 倭連合軍を迎え撃ったと考えるのが妥当だと思います。その時にわざわざ錦江の中流や上流まで敵艦隊を侵入させてから戦うでしょうか。筆者は「白村江の戦い」の戦場は白馬江でも江景でもなく、今回の旅では行かなかった錦江の河口付近の海岸であった可能性が最も高いと思います。遠山 美都男氏は「白村江 - 古代東アジア大戦の謎」において、「白村江の戦い」は錦江の河口の海上で行われたと書いており、筆者もこれに同意します。

遠山氏によれば、百済の遺臣は錦江下流の周留城に拠って抵抗したとあります。倭の艦隊は周留城救援のために錦江河口から河を遡ろうとしたのです。本稿の終わりに当たって、遠山氏の上記著書からの抜粋を示して、この戦いの様子を振り返ります。

660年の百済滅亡後、唐軍に占領された百済旧領において、唐軍に抵抗する旗頭となり、百済復興運動の火付け役となったのは、百済王朝の一族の鬼室福信である。福信は自分を首領とした唐への抵抗運動に限界のあることに早い段階で気付いて、百済復興運動の精神的支柱となりうる人物、具体的にはしかるべき百済王族を擁立して戦うことを思いついた。だが、それにふさわしい人物といえ、20年ほど前、倭国に人質として遣わされた王子、余豊璋ぐらいしかいなかった。

倭国が百済遺臣らの要請を受け、661年に齊明女帝が軍事援助の陣頭に立って結果として筑紫の地まで行ったのは、彼女が今回の百済救援戦争を中大兄(後の天智天皇)への譲位の契機にしようとして企てていたのではないか。彼女は東北地方において大王に朝貢する夷狄として蝦夷(えみし)という存在を意図的に創出しようとして企



それを正当化する戦争に本格的に着手しようとしていた女帝の歌としてこそふさわしいであろう。これが額田王の作歌だったとしても彼女はあくまでも女帝の意志を代弁したにすぎないと思われる。

筑紫に着いた女帝は兵士の動員・編成と渡海の準備に余念がなかったと思われるが、その最中に突然急逝した。女帝の次の男王は即位に当たり譲位という形式を踏まねばならなかったが、中大兄は女帝から譲位をうけて即位することができなくなって、およそ6年のあいだ正式に即位することはなかった。

662年に倭国の軍隊に護衛されて百済への帰国を果たした余豊璋は、彼を迎え入れた鬼室福信とともに周留城に入った。周留城に拠って戦うということは一種の籠城戦である。籠城戦を勝ち抜くためには次の2つの条件が必要である。1つは、必ず味方の来援があるという確証があることで、周留城の場合、倭国軍の存在がこれにあたる。今1つの条件とは、城内に兵士の戦闘意志を持続させうるような精神的支柱、あるいはすぐれた戦闘指揮官が存在することである。周留城の場合、前者が余豊璋、後者が鬼室福信であった。ところが、籠城が長期に及んだ場合の食糧確保がより有利な錦江の南の避城に遷るという作戦が失敗した後、2人の間の確執が表面化してやがて亀裂が生じ、福信が殺された。

唐・新羅両軍はこれを機に一挙に周留城を陥落させようと企てた。170艘の唐水軍は錦江河口を封鎖し倭国軍をここで迎え撃つ作戦に出た。唐水軍を陸上から援護するため、新羅軍が出動した。倭国が派遣した27,000という増援軍は新羅領に上陸したが、陸路によってこの戦場に辿り着くには何重にも布陣した新羅軍をすべて粉砕しなければならず、到底不可能であったため海路によって半島西南を大きく迂回して錦江河口に向かったと思われる。

「白村江の戦い」の戦場の呼び名は、史料によって異なる。「日本書紀」はそれを白村あるいは白村江とする。「日本書紀」の訓みはハクスキ・ハクスキノエであるが、そのように訓む根拠は定かではないので本書ではハクソンコウと音読しておく。「旧唐書」などは単に白江といい、「三国史記」では白沙とする。

唐・新羅両軍の動きを知って、周留城の余豊璋が動いた。彼は周留城を出て倭国軍と合流したのである。周留城は籠城して戦闘を継続するのに必要な有能な戦闘指揮官であった鬼室福信を既に失っていた上に、精神的な支柱であるべき余豊璋までいなくなってしまったのである。

倭国と唐とそれぞれの水軍の規模と戦力を推測するならば、倭国水軍の少なく

見積っても 400 艘に対し、唐水軍の 170 艘ということになる。「白村江の戦い」は 2 日間にわたって行なわれた。1 日目は倭国水軍のすべてが戦場に到着していないにも拘わらず、相手の士気と戦力を小手試しするかのような戦いを挑み、結局敗退している。2 日目の戦闘において、倭国水軍は「気象」を見ることなく、「われらが先を争うようにして攻めかかれば、敵はおのずから退却する」と判断、唐水軍の中陣に挑みかかったという。「気象を見ず」とは、「倭国水軍の指揮官らの意志の分裂・不統一を全く無視して」という意味ではないだろうか。また、倭国水軍は周留城を救援するために駆けつけたのに、同城に余豊璋の姿はなく、既に同城はかってそうであった百濟復興の拠点でも司令塔でもなくなっていたことも敗因の 1 つである。

(つづく)

## 鬼室神社

近江朝廷が天津に都を定めた頃、現在の韓国、時の百濟国から我国へ渡来をした多数の渡来人の中の優れた文化人であった鬼室集斯という高官の墓碑が、この神社の本殿裏の石祠に祀られているところからこの社名が付けられた。古くは不動堂と言い小野村の西の宮として江戸期まで崇敬された社であり、小野の宮座である室徒株によって護持されてきた。また、今日では鬼室集斯の父、福信将軍が大韓民国忠清南道扶餘郡恩山面の恩山別神堂にお祀りされていることから、姉妹都市としての交流が盛んに行われている。

## 귀실신사

오오미 조정이 오오쓰에 왕궁으로 정했을 때, 현재의 한국 그 당시 백제나라부터 우리나라에 도래한 다수의 도래인 중, 우수한 문화인이었던 귀실집사라는 고관의 묘가 이 신사 본전 뒤의 석사에 좌사되고 있기 때문에, 이 신사 사명이 지어졌다. 옛날에는 부동당이라 하며 고노마을의 성궁으로 에도시대까지 숭경해진 신사이고, 고노의 궁좌인 실도들에 힘으로서 호지되고 있다. 또 오늘에서는 귀실집사의 부친 귀실복신 장군이 대한민국 충청남도 부여군 은산면 은산별신당에 좌사되고 있으므로 자매도시로서 교류가 왕성되고 있다.

\* 蒲生郡日野町小野(この)には、近江天津京の初代学識頭(ふみのつかさのかみ: 当時の文部大臣)を努めた百濟人鬼室集斯(きしつしゅうし)を祀る鬼室神社がある。(世話人)

## 1 . 未来投資に向けた官民対話 ( 第 5 回 )

平成 28 年 4 月 12 日

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/index.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/index.html)

### 第四次産業革命・イノベーション

資料 1 : 出席者名簿 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou1.pdf)

資料 2 : 橋本氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou2.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou2.pdf)

資料 3 : 関山氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou3.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou3.pdf)

資料 4 : 金丸氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou4.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou4.pdf)

資料 5 : 上野氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou5.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou5.pdf)

資料 6 : 加藤氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou6.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou6.pdf)

資料 7 : 五神氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou7.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou7.pdf)

資料 8 : 榊原氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou8.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou8.pdf)

資料 9 : 三村氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou9.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou9.pdf)

資料 10 : 小林氏提出資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin\\_taiwa/dai5/siryou10.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kanmin_taiwa/dai5/siryou10.pdf)

## 2 . 産業構造審議会 製造産業分科会 ( 第 4 回 ) 配布資料 H28.3.28

[http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/004\\_hai fu.html](http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/004_hai fu.html)

### 製造業をめぐる現状と課題への対応

委員名簿 [http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/pdf/004\\_00\\_04.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/pdf/004_00_04.pdf)

#### 資料 1 製造業をめぐる現状と課題への対応

[http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/pdf/004\\_01\\_00.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/pdf/004_01_00.pdf)

## 3 . 情報通信技術が変える経済社会

( 2016 年 3 月 23 日発表 )

“ 第 4 次産業革命 ” への備えを

日本経済研究センタ

ICT 戦略と国家戦略・経営戦略の深い統合を

<http://www.jcer.or.jp/policy/concept2050.html>

[http://www.jcer.or.jp/policy/pdf/160323\\_policy1.pdf](http://www.jcer.or.jp/policy/pdf/160323_policy1.pdf)

2015 年 2 月に公表した「経済社会の革新的変化への岐路に立つ日本 技術進歩と向き合う改革への覚悟を」に続き、研究会での議論を取りまとめた。ICT ( 情報通信技術 ) を製品・サービスの開発・提供、競争力向上の中核としてフル活用するため、ICT 戦略と企業戦略、そして ICT 戦略と国家戦略を統合することが「第 4 次産業革命」を乗り切る上で不可欠だ。

## 4 . グローバル・トレンド

平成 28 年 3 月 30 日 中部経済産業局

[http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/global\\_trends.html](http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/global_trends.html)

「グローバル・トレンド ( 未来洞察データ集 ) 」は、エネルギートレンド、資源トレンド、経済トレンド、業界動向 ( 自動車市場、航空機市場 ) などについて、各機関が公表している予測データを取りまとめております。企業の皆様の時流に先んじた ( 環境変化を先取りする ) 経営戦略立案に幅広くご活用いただければ幸いです。

グローバル・トレンド（未来洞察データ集）2016年版（平成28年3月30日公表） [http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/data/global\\_trends\\_2016.pdf](http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/data/global_trends_2016.pdf)

## 5 . Global Tech Trends 2016 Innovating in the digital era

デロイトトーマツ

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html>

テクノロジーに大きな変革をもたらす事象への理解を深めるため、デロイトでは毎年Global Tech Trendsを発行しております。今回で7回目となるTech Trends 2016は、今後1年半～2年の間にビジネスに大きなインパクトを与えるだろう8つのトレンドに焦点をあて、また各トレンドが計画・設計・導入される段階において企業内統制の立場からサイバーリスクをどう捉えておくべきか考察しております。

Tech Trends 2016 日本語版

<http://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/jp/Documents/technology/tsa/jp-tsa-tech-trends-2016.pdf>

Contents

- ・ IT 導入スピードの最適化とは

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#2>

- ・ 実用段階にきた拡張現実とバーチャルリアリティ

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#3>

- ・ Internet of Things が価値を生むまで

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#4>

- ・ 基幹システム再創造

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#5>

- ・ Autonomic platforms（自律型プラットフォーム）

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#6>

- ・ ブロックチェーン：特定の権威に依らない「トラスト」の確立

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#7>

- ・ アナリティクスの「産業化」

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#8>

- ・ 技術の飛躍的進歩がもたらす社会へのインパクト

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#9>

- ・ (動画) Tech Trends 2016: Innovating in the Digital Era

<http://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/technology/articles/tsa/tech-trends-2016.html#10>

## 6 . 2020 年までの IT ロードマップをとりまとめ

～ ビジネスや社会へ影響を及ぼす重要技術は、ディープラーニングによる人工知能の進展がカギとなる～

2016年03月17日 野村総研

[http://www.nri.com/jp/news/2016/160317\\_1.aspx](http://www.nri.com/jp/news/2016/160317_1.aspx)

これからのビジネスや社会に広く普及し、さまざまな影響を及ぼすと考えられる重要技術が、2020年までにどのように進展し実用化されるかを予測した「ITロードマップ」 1 をとりまとめました。今回、重要技術として取り上げたのは、「人工知能(AI)」、「IoT(Internet of Things)」、「ウェアラブルコンピューティング」、「カスタマー・エクスペリエンス」、「API エコノミー」、「FinTech」、「リテールTech」、「デジタル・マーケティング」の8つです。

## 7 . 産業競争力会議 第40回

テーマ：データ駆動型経済、未来投資、フィンテック

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou.html>

資料1：小林主査提出資料

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou1.pdf>

資料2：三木谷議員提出資料

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou2.pdf>

資料3：上田祐司氏提出資料（一社シェアリングエコノミー協会代表理事）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou3.pdf>

資料4：根来龍之氏提出資料（早稲田大学ビジネススクール ディレクター・教授）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou4.pdf>

資料5：内閣官房 IT 総合戦略室提出資料（シェアリングエコノミー関係）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou5.pdf>

資料6：経済産業省提出資料（シェアリングエコノミー関係）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou6.pdf>

資料7：内閣官房 IT 総合戦略室提出資料（IT 原則への転換関係）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou7.pdf>

資料8：内閣サイバーセキュリティセンター提出資料

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou8.pdf>

資料9：経済産業省提出資料（サイバーセキュリティ関係）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou9.pdf>

資料10：総務省提出資料（サイバーセキュリティ関係）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou10.pdf>

参考：第27回実行実現点検会合（平成27年12月10日）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/sankou1.pdf>

資料11：瀧俊雄氏（株）マネーフォワード`取締役 Fintech 研究所長）提出資料

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou11.pdf>

資料12：金融庁提出資料（FinTech 関連施策について）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou12.pdf>

資料13：経済産業省提出資料（Fintech(フィンテック)について）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou13.pdf>

資料14：経済産業省提出資料（クレジットカード`産業におけるデータ利活用に向けて）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/jjkaigou/dai40/siryou14.pdf>

## 8 . サイバーセキュリティ戦略本部 第7回

（平成28年3月31日）

<http://www.nisc.go.jp/conference/cs/index.html>

#### 報道発表資料

[http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07cs\\_press.pdf](http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07cs_press.pdf)

#### サイバーセキュリティ人材育成総合強化方針

[http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/jinzai\\_kyoka\\_hoshin.pdf](http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/jinzai_kyoka_hoshin.pdf)

#### 重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第3次行動計画の見直しに向けたロードマップ

[http://www.nisc.go.jp/active/infra/pdf/ciip\\_roadmap2016.pdf](http://www.nisc.go.jp/active/infra/pdf/ciip_roadmap2016.pdf)

#### 議事次第

<http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07gijishidai.pdf>

#### 資料1 サイバーセキュリティ人材育成総合強化方針（案）

<http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07shiryuu01.pdf>

#### 資料2 重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第3次行動計画の見直しに向けたロードマップ（案）

<http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07shiryuu02.pdf>

#### 資料3 2016年「サイバーセキュリティ月間」結果報告

<http://www.nisc.go.jp/conference/cs/dai07/pdf/07shiryuu03.pdf>

### 9. 平成27年度製造基盤技術実態等調査報告書 平成28年8月 日立製作所 (製造分野におけるIoTシステムのセキュリティ対策に関する調査事業)

[http://www.meti.go.jp/meti\\_lib/report/2016fy/000057.pdf](http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2016fy/000057.pdf)

IoT実装の有力な分野として検討が進められている製造分野を対象に、ハードウェア、ソフトウェア、データ、オペレータ等のIoTシステムを構成する要素ごとに考えられるセキュリティリスクの洗い出しと具体的な対応策について、検討・整理する。

### 10. AIの「人間超え」、その時トップ囲碁棋士は 2016年3月19日 高尾紳路九段が見たシンギュラリティの風景 日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/110879/031600283/>

年3月、世界トッププレイヤーの1人、韓国の李世ドル(イ・セドル)九段が五番勝負でグーグル傘下企業のディープマインドが開発した人工知能(AI)「アルファ碁」に敗れたというニュースが世界中を駆け巡った。チェス、将棋など人類の知性の象徴とされてきたゲームで次々にAIによる「人間超え」が起きてきたが、「早くて10年後」とされてきた囲碁がここまで早く陥落することを予想する人はいなかった。AIが人間を超える、シンギュラリティ(技術的特異点)。遅かれ早かれ、我々全員が直面する現実だ。正に今、囲碁棋士はその現実に向き合っている。そこには、どのような光景が広がっているのか。名人、本因坊など

14回のタイトル獲得経験を持つ日本囲碁界のトップ棋士の1人、高尾紳路九段が緊急寄稿した。

### 11. 人工知能が囲碁トップ棋士に勝つ時代に考える 「知的職業」の未来

2016.3.16 DIAMOND Online 山崎元

<http://diamond.jp/articles/-/87970>

韓国出身で近年の囲碁世界チャンピオンだったイ・セドル九段が、グーグルの系列会社で作ったAlphaGoというプログラムと戦って敗れた。5番勝負で最初に3連敗したのだ。

### 12. ロボットは「同僚」になれるのか

2016年3月17日

工場、介護、保育、接客...24年後の現場は？

日経ビジネスOnline

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/221102/031400189/>

人口減と高齢化に歯止めがかからない日本。現在の経済活動を維持するには人手が足りなくなる。日経ビジネス3月7日号スペシャルリポート「自動化専門家が断言 移民よりまずはロボット」でも取り上げたが、2040年には586万人分の労働力が不足すると予測されている。

### 13. 中国産業用ロボットの行方

2016.03.07 三井物産戦略研

[http://mitsui.mgssi.com/issues/report/d\\_r160307i\\_fujishiro.html](http://mitsui.mgssi.com/issues/report/d_r160307i_fujishiro.html)

### 14. 「ユーザー企業のIT活用実態調査(2015年)」を実施

2016.03.16

～国内企業の「デジタル化」における課題は「組織の壁」～

野村総研

[http://www.nri.com/jp/news/2016/160316\\_1.aspx](http://www.nri.com/jp/news/2016/160316_1.aspx)

2015年12月に、国内企業におけるIT活用の実態を把握するためのアンケート調査を大手企業のCIO(最高情報責任者)またはそれに準じる役職者を対象に実施し、全業種にわたって501社から回答を得ました。NRIでは2003年から本調査を毎年行っており、今回で13回目となります。今回の調査では、これまでのIT投資などの定点観測項目に、企業の

「デジタル化\*1」についての項目を新たに加えました。調査結果からは、国内企業が「デジタル化」を推進する上で必要としていることは、全社的な活用方針・活用戦略の策定、情報システム部門と事業部門とのコミュニケーションや協業の促進など、「組織の壁」を越える施策であることが明らかとなりました。

### 15. 平成27年情報通信業基本調査

H28.3 総務省情報通信国際戦略局

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/joho/result-2/h27/h27kakugaiyo.pdf>

## 16 . 総合科学技術・イノベーション会議 システム基盤技術検討会（第4回）

平成28年3月2日

[http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/hai fu\\_system\\_04.html](http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/hai fu_system_04.html)

サイバーセキュリティの取組について、A I Pの取組について、  
標準化の取組について、共通基盤について

### 配布資料

資料1 前回までの有識者ご意見抜粋

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo1.pdf>

資料2 「安全なIoTシステムの創出」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo2-1.pdf>

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo2-2.pdf>

資料3 「人工知能ビッグデータIoTサイバーセキュリティ

統合プロジェクトに関する文部科学省の取組状況について」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo3.pdf>

資料4 「社会システムの国際標準化について」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo4-1.pdf>

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo4-2.pdf>

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo4-3.pdf>

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo4-4.pdf>

資料5-1 ユースケースを通じた共通基盤の議論について

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo5-1.pdf>

資料5-2 ユースケースの共通基盤項目検討結果一覧

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo5-2.pdf>

資料5-3 有識者からのユースケース集計結果（提案価値を基準に再集計）

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo5-3.pdf>

資料6 システム基盤技術検討会論点整理（案）

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo6.pdf>

資料7 今後の予定

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/shi ryo7.pdf>

参考資料1 システム基盤技術検討会（第3回）議事録（案）

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/system/4kai/sanko1.pdf>